

# 浜北商工会 経営発達支援計画 事業評価書

1. 日時： 2020年3月30日（月）
2. 場所： 浜北商工会 3階301会議室
3. 出席者： 委員長 村松辰芳（浜北商工会長）  
委員 小畑邦夫（浜北商工会副会長） 坪井洋一郎（浜北商工会副会長）  
委員 松井昇 外山まち乃
4. 評価の目的： 令和元年度に実施した経営発達支援計画の事業実施・成果について評価を行い、見直し案等の提示を行なうことで支援計画の改善につなげる。
5. 評価の手法： 各評価事項における定量及び定性的観点から4段階で評価する。
6. 評価の反映： 評価委員会からの提言をもとに改善案を検討し、2020年度の事業実施計画等に反映させる。
7. 主な指標（令和元年実施結果）

項目	目標	結果
①地域経済動向調査件数（月1回）	12回	12回
②小規模事業者の基礎データを把握している事業者数	—	380件
③経営状況分析事業者数	200件	380件
④事業計画策定事業者数	125件	113件
⑤分析・計画策定後フォローアップ実施事業者数	125件	113件
⑥分析・計画策定後フォローアップ延べ回数	500回	755回
⑦需要動向調査件数	176件	113件
⑧展示会・商談会出店支援事業者数（小規模事業者）	60件	43件
⑨販路開拓支援事業者数（⑧を除く）	35件	27件
⑩新たな需要を開拓した小規模事業者数	—	19件
⑪地域活性化に関する関係機関との協議実施件数	—	26回
⑫地域経済活性化に資するイベント参画件数	—	6件
⑬経営革新計画承認申請件数	—	6件
小規模事業者持続化補助金申請件数	—	31件
経営改善資金（マル経）推薦件数	—	58件

## 8. 全体を通しての意見

- 小規模事業者に対する取組みは目標を達成している項目もあるが、比較が出来ない項目もある。
- 経営指導員を始め職員間での情報共有等、今後取り組むべき課題については方向性を定め、解決していくようにする必要がある。
- 職員個人のスキルアップについては、会員への支援強化に繋がるので、取組みを継続していただきたい。会員拡大・自主財源拡大推進についても積極的に取り組んで欲しい。
- 創業支援というソフト事業から実際の「ハコモノ」であるイトリエ開設に繋がっている。是非成果を期待している。

(別添) 令和元年度 浜北商工会経営発達支援計画評価結果

分類	項目	総合評価 (前回)	コメント
経営 発達 支援 事業 の 内 容	1.地域の経済動向調査に関する事	B (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模事業者には特にわかりやすく、個別の業界動向についてしっかり把握できるような資料の公表及び説明に努めてほしい。</li> <li>・ビックデータ解析等にも取り組んで欲しい。</li> </ul>
	2.経営状況の分析に関する事	A (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未接触事業所への対応が着実に組み込まれており引き続き未接触ゼロに向けて取り組んでほしい。</li> <li>・会員への巡回、窓口相談回数、セミナーの回数等、結果が残せている。</li> </ul>
	3.事業計画策定支援に関する事	B (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模事業者持続化補助金への申請数が増加し、採択率もアップしたことは、支援が充実しているものとする。</li> <li>・専門家を派遣・活用して職員のスキルアップをすることはいいと思う。</li> <li>・職員個人が努力する事による能力アップも重要である。</li> </ul>
	4.事業計画策定後の実施支援に関する事	B (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業後の事業者向けセミナーや先輩経営者等のアドバイスを聴く場等を設けられたことは、とても良く、引き続き創業後のフォローの充実に努めてほしい。</li> <li>・持続化採択者のフォローアップがしっかり出来ている。</li> <li>・職員全体間で情報共有できるよう早急に取り組んで欲しい。</li> </ul>
	5.需要動向調査に関する事	C (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新製品開発に向けた需要動向調査としての展示会等出展は良い取り組みだが、一部の事業者が出るだけで終わらず、小規模事業者の参加者をしっかり集める周知・PRにも取り組んで頂きたい。</li> <li>・販路開拓が困難な小規模企業にとって役立つと思う。この取り組みを活かして実績に結びつけてもらいたい。</li> </ul>
	6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	B (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談会を見据えた個別商談会等への小規模事業者の支援は上手く取り組まれている様で、都心部の支援とは違う、商工会の支援に期待されている。</li> <li>・浜北以外の商工会（西遠地区等）とも、うまく連携して商談ができていよう、更に拡大していただきたい。</li> </ul>
地域 活性	7.地域経済の活性化に資する取組	B (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イトリエを上手に活用し中心市街地活性化にも取り組んでいただきたい。</li> <li>・ネット（スマホアプリ等）を活用した取り組みが拡大するような施策に力を入れてほしい。</li> </ul>
支援 力 向 上	8.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	C (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の支援機関と、より一層の連携による課題やノウハウの情報交換を進め、支援力向上に努めてほしい。</li> <li>・金融支援等、小規模企業に重要であるのでしっかり対応をお願いしたい。</li> </ul>
	9.経営指導員等の支援力の向上の仕組み	C (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員支援が多角化、高度化しているため、職員の能力向上を持続して行っていくことが重要。</li> <li>・更なる指導員のスキルアップにより、会員への支援（特に小規模企業）を的確に行ってほしい。</li> </ul>
	10.支援ノウハウ等を組織内で共有する体制	C (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援ノウハウの共有化を進めることで組織（チーム）として経営支援ができる体制構築に取り組んでほしい。</li> </ul>

A：目標を達成ができた（100%以上） B：目標を概ね達成ができた（80～99%）

C：目標を半分程度しか達成できなかった（30～70%） D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

経営発達支援計画に関する伴走支援スキーム図

